

バンコクの Regional Community Forestry Training Center (RECOFTC) について

渡 辺 弘 之

タイ、バンコクのドンムアン空港に近いバンケンにある Kasetsart 大学林学部に、表記の Regional Community Forestry Training Center が、アジア開発銀行 (ADB)、スイス政府の財政援助および Kasetsart 大学自身の財政負担により 1987 年 3 月より、その活動を始めている。

すでに、林学部キャンパスの近くに建物予定地の看板が立っているが、目下のところは、森林生物学科の建物の 2 階の一室を事務室として、一時的に使用している。

このセンター設立の主目的は、(1) アジア・太平洋地域の Community Forestry Training Center としたいこと、(2) 各国の Community Forestry の技術者、専門家のトレーニング、(3) Community Forestry のセミナーやワークショップなどの開催、(4) 各国の Community Forestry のプロジェクトへの技術援助、(5) 情報交換、(6) Community Forestry 研究を発展させるための研究機関の協力体制の確立、(7) Community Forestry アドバイザー協議会の設立で、トレーニング・コースとしてはアジア・太平洋各国の Community Forestry のプログラムやプロジェクトを運営、推進、監督するための概念を指導教育し、専門家を養成することだとされている。このコースを修了した各国の研修生はそれぞれの国の Community Forestry に関連する種々の問題解決に十分対応できる知識と活動力を身につけるよう期待されているようである。

コースの期間は 6 か月であるが、この期間中に数週間は村落に宿泊することを要求され、その訪れた村のための Community Forestry の Action Plan をつくらなければならない。さらに、出身国の Community Forestry プログラム発展の論文づくりが要求され、修了時には、その結果を発表することになっている。どんなテーマでの講義、トレーニングが行われているかは、興味あるところである。和訳せずそのまま記述した方が理解が得られやすいようなので、そのまま記述しておく。コースの主要なテーマは次のとおりである。

Part I Introduction and environmental principles: Introduction to community forestry, Basic principles of forestry, Inventory/Assessment

WATANABE, Hiroyuki: On Regional Community Forestry Training Center (RECOFTC)
Established in Bangkok, Thailand
京都大学農学部

procedures, Ecology/Ecosystem functions, and Field trips.

Part II Human and economic behaviour: Social, economic and political factors and inventories, Policy/Legislation, Rural-Urban relationships, Extension, Analysis of human and economic interactions, Communication techniques, and Field trips.

Part III People and natural resources interaction: Agroforestry Farming systems, Energy production, Urban forestry, Small scale forestry products industry, Wood industry/ Marketing, Soil and water conservation/watershed management, Plantation establishment and management, Silvo-pastoral management, Fisheries, National parks and recreation, Fire management, Arid and semiarid zone management, Coastal resource and Field trips.



事務所の前に立つ Somsak 博士

Part IV Planning, management and applications: Management principles, Administration and office management, Decision making/Systems analysis, Project/program preparation and implementation, Publicity relations and networking, Teaching skills, Writing of community forestry action program, and Field trips.

現在、この RECOFTC の Director は、筆者もいつも親しくしていただいている元林学部長の Dr. Somsak SUKUWONG (森林生態学)、Deputy Director は Dr. Sompetch MUNGKORNDIN (森林経済学) と Dr. Suree BHUMIBHAMON (造林学) の三氏である。次の 1989 年 6 月から始まる第 2 回 (The second certificate course) では、講義は英語、参加者はコース期間中の滞在費、移動費、保険などを含んで 9,200 US ドルの納入が要求されている。バンコクでは主として大学内にある ASEAN Dormitory などに宿泊するが、Field campus はバンコクから 700 km はなれたランパン県のフェイ・タークの Kasetsart 大学林学部の演習林宿泊所を利用することになっている。

ちなみに、前回 1988 年 6 月からの第 1 回のコースには、10 か国から 13 名が参加したとのことであ



シンボルマーク

った。丁度、1988年の12月上旬、他の森林調査でチェンマイに滞在していて、夜、チェンマイ動物園で開催されたこのトレーニング・コースの終了、祝賀会に招待され、参加させてもらったのだが、6か月の共同生活で参加者とティーチング・スタッフの仲は、和気あいあい、きわめて楽しい雰囲気を感じた。

すでに、1年に1~2回の予定で Asia-Pacific Community Forestry Newsletter を Vol. 2 までだしている。Newsletter には RECOFTC 活動、各国の Community forestry プログラムの紹介、さらには、情報の交換欄には森林、林業に関する国際シンポジウム、ワークショップなどの予告・連絡先、新刊書紹介などが掲載されており、これも役立つ。また、1988年12月に行なわれたセミナーの Proceedings が「Seminar proceedings. Regional Community Forestry Training Center for Asia and Pacific」(M.E. STEVENS, ed.) RECOFTC Report No. 1 (pp. 287) として発行されている。

この RECOFTC には中国、韓国、台湾なども入っているのに、日本は入っていない。先にのべたように財政的サポートは ADB とスイス政府である。ADB には日本も高額を出資しているのだが、こんなところにも直接的な財政援助と器材、技術の援助、そして専門家の派遣を考えていいのではなからうか。

コースの参加申し込み、その他の連絡は下記へされたい。

Dr. Somsak SUKUWONG, Director, Regional Community Forestry Training Center, c/o Faculty of Forestry, Kasetsart University, Bangkok 10900, Thailand
